

## 土木工学分野

【学士力の考察】（修正が無いため省略）

【到達目標 1】（解説、到達度①の下線部分を修正）

1. 構造力学系、測量系、地盤系、コンクリート系、水理系など、土木工学の専門基礎を理解できる。

ここでは、構造物の設計や施工に必要な構造力学、土質力学、コンクリート工学などの専門基礎を身につかせねばならない。これらを修得することによって、技術者としての基礎が構築される。そのため、設計者・現場管理者の業務や技術系公務員として社会基盤施設の維持管理や防災対策に従事するための最低限必要な基礎力の獲得を目指す。

【到達度】

- ① 数学や物理、情報技術、環境科学などの工学的基礎知識を理解できる。

【到達目標 2】（到達度④の下線部分を修正）

【到達度】

- ④ 法の遵守はもとより、技術者としての行動規範を持つことの重要性を理解できる。

【到達目標 3】（到達目標、解説、到達度④の下線部分を修正）

3. 「計画、設計、施工、維持・管理、更新」を総合的にマネジメントする観点から各工程の仕組みを理解し、課題を抽出して検討することができる。

ここでは、社会基盤施設の所要機能、安全な強度、環境との調和の3つの要素をバランスさせるとともに、維持管理に留意したマネジメントの考え方を身につかせねばならない。そのため、適切な計画に基づき、安全かつ低コストで建設後の維持管理にも配慮できるマネジメントの仕組みを理解させ、事業の全体像から自分の担当工程の役割分担を明確化し、対処できるようにすることを目指す。

【到達度】

- ① 環境に配慮しつつ安全性、経済性、機能性を高めることをねらいとして、計画、設計、施工、維持・管理、更新の概念及び方法論を理解できる。
- ② 事業工程全体の仕組みを理解し、概念や方法論と関連付け統合的な問題解決を図ることができる。

【到達目標 4】（修正が無いため省略）